

令和5年度 主要施策

(6月補正予算計上分)

いつまでも住み続けたいまち守口
～暮らしやすさが、ちようどええ♪～



令和5年6月

[令和5年度 主要施策 - 6月補正予算計上分]

子育て支援・教育の充実

- 1 守口市立小学校等給食費無償化事業 (136,350 千円)
- 2 民間保育士緊急確保支援事業 (1,099 千円)
- 3 子育て支援アプリ導入事業 (638 千円)
- 4 特別支援教育支援員配置事業 (30,119 千円)
- 5 英語教育推進事業 (8,647 千円)

安全安心のまちづくり

- 6 公共未利用地を活用した公園整備事業 (34,480 千円)

市民生活の支援と地域経済の活性化

- 7 守口市おでかけ応援商品券事業 (521,775 千円)

子育て世帯の経済的負担を軽減 ～小学校等給食費無償化事業～

●事業目的

コロナ禍や国際的な情勢不安による物価の高騰などに対処するため、これまで2度にわたり、子育て支援施策の一環として、市立小学校及び市立義務教育学校前期課程における学校給食費の無償化を臨時的に実施してきた。

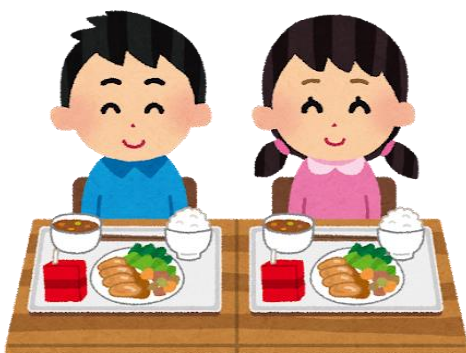
今後は、子育て支援を始めとする未来への投資促進として、子育て世帯の経済的な負担を軽減するため、市立小学校及び市立義務教育学校前期課程における学校給食費の恒久的な無償化を行う。

●事業概要

市立小学校等に在籍する児童の学校給食費を、令和5年度2学期分から恒久的に無償化する。

(参考) 小学校等の全児童を対象として、恒久的な給食費無償化を実施する府内の自治体

- ・大阪市、能勢町、田尻町、千早赤阪村



●令和5年度補正予算(案) 136,350千円

【内訳】

- ・補助金 136,350千円
(学校給食費を管理する守口市学校給食協会に対し、給食費分に相当する補助金を交付)
- ・令和5年度2学期(令和5年8月31日)給食提供分より無償
- ・市立小学校及び市立義務教育学校前期課程に係る給食費

区分	給食費(1食あたり)	1人あたり負担軽減額(2学期・3学期分)
低学年(1・2年生)	240円	30,000円
中学年(3・4年生)	250円	31,250円
高学年(5・6年生)	260円	32,500円

- ・対象児童数 約6,000人

保育士確保への支援を延長し、保育の受け皿確保を図る

～民間保育士緊急確保支援事業～

●事業目的

本市では、令和3年度～令和5年度までの間、私立認定こども園等に新卒として採用された保育士等に対し、官民協働で最大40万円を支給する民間保育士緊急確保支援事業を実施するなど、保育の受け皿確保に努めてきたが、近年の保育所等入園申込み者数の増加も相まって、今年度、5年ぶりに待機児童が発生した。

そのような状況のなか、保育の受け皿確保・拡大は急務であり、受け皿確保に直結する保育士の確保についても、引き続き、強力に支援するため、今年度で終了予定であった本事業について、1年間期限を延長し、保育の受け皿確保・拡大を進めていく。

●事業概要

市内私立認定こども園及び保育所に新卒（常勤・正規職員）で採用された保育士、幼稚園教諭及び保育教諭へ、**年間で最大40万円を支給**する。

当初は、令和3年度から令和5年度までの3年間の期間限定（令和5年度の新規採用者まで）の予定だったが、**実施期間を1年間延長**するため、当該事業の実施に係るPRを実施する。

支給時期	支給額
夏（7月頃）	20万円（市：10万円、採用法人：10万円）
年度末（3月頃）	20万円（市：10万円、採用法人：10万円）
合計	40万円（市：20万円、採用法人：20万円）

※守口市と協定書を締結した市内の私立認定こども園及び保育所との協働により実施する。

●令和5年度補正予算（案） 1,099千円

【内訳】

- ・事業周知用ポスターの作成、郵送費用 491千円
- ・就活支援サイトへの掲載 608千円

※本補正予算は、令和6年度の事業実施PR予算のみ計上

※令和6年度の事業実施は守口市での予算成立が条件



子育て情報の発信・相談支援機能を強化

～子育て支援アプリ導入事業～

●事業目的

妊娠期から出産・子育て期にわたる伴走型の相談支援の充実に向け、妊娠中・子育て中の保護者に対し、必要な情報を効率的かつ効果的に情報発信するとともに、手軽に情報を収集し、相談へとつながる環境を整備し、不安感や孤立感の低減を図るため、子育て支援に特化したスマートフォンアプリを導入することにより、子育て情報の発信及び相談支援機能を強化する。

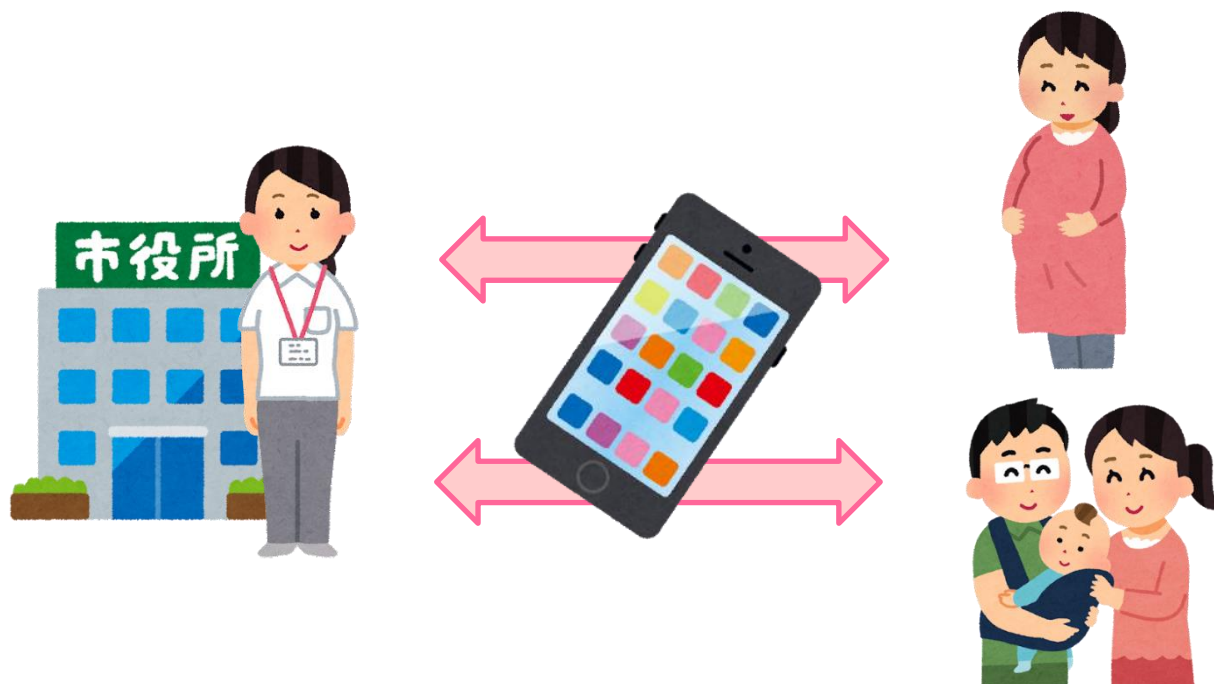
●事業概要

子育て支援アプリを導入し、プッシュ型による子育て情報を発信するとともに、紙の母子健康手帳を補完するデータ記録機能、予防接種のスケジュール管理機能等を提供する。

●令和5年度補正予算（案） 638千円

【内訳】

アプリ初期設定費用	440千円
アプリ利用料及び運用保守費用	198千円



「ともに学び、ともに育つ」教育の推進をめざした支援体制の整備 ～特別支援教育支援員（学校介助員）配置事業～

●事業目的

市立学校に在籍する配慮を必要とする児童生徒に対し、学校生活上の介助等を行う特別支援教育支援員（学校介助員）を配置することで、一人ひとりの教育的ニーズに最も的確に応える指導を提供するとともに、学校における特別支援教育を推進し、もって対象児童生徒の健全な育成を図る。

●事業概要

市立学校に在籍する日常的に介助を必要とする児童生徒に対し、特別支援教育支援員（学校介助員）を配置する。（これまでの有償ボランティアとしての派遣に加え、学校の職員（会計年度任用職員）として配置するもの）

●令和5年度補正予算（案） 30,119 千円

【内訳】

会計年度任用職員

- ・報酬 27,263 千円
- ・費用弁償 2,772 千円
- ・派遣費 84 千円

学校生活における日常的な介助

移動等の補助



着替え等の補助



体育等の補助



中学校卒業段階で CEFR「A1」レベルをめざす

～英語教育推進事業～

●事業目的

児童生徒が英語に対する興味・関心を持ち、英語を使ってコミュニケーションができるよう、AET（英語指導助手）の配置や英語力測定テストの導入等により、中学校卒業段階までに国際指標 CEFR(セファール)「A1」レベルをめざす。

※CEFR（セファール）：英語をはじめとした外国語の習熟度や運用能力を同一の基準で測ることができるヨーロッパ言語共通参照枠。2001年に欧州評議会が発表。A1～A2の学習者を基礎段階の言語使用者、B1～B2の学習者を自立した言語学習者、C1～C2の学習者を熟練した言語使用者としている。

●事業概要

AETを各中学校区等に1名拡充して配置（5名→8名）することにより、児童生徒が英語に触れる機会を十分に確保し、言語活動を中心とした授業展開を行い、より充実した英語教育を図る。また、中学校等の生徒が習得している英語力の程度を可視化するため、英語力測定テストの実施により、その結果や傾向を踏まえ指導に生かす等、授業改善へと結びつけていく。

また、教員の英語力、指導力の向上のため、公開授業を計画的に行うとともに、外部講師による研修を年2回実施する。

●令和5年度補正予算（案） 8,647千円

【内訳】

英語指導助手（AET）派遣事業業務委託	6,665千円
英語力測定テスト実施業務委託	1,942千円
外部講師による研修講師費用	40千円

AET（英語指導助手）の活用

AET（英語指導助手）を活用した、実践的なコミュニケーション力の育成



英語力測定テストの導入

生徒の英語力を可視化



教職員研修

外部講師（大学教授等）による授業改善への指導・助言、研修講師等



小学校跡地・老人福祉センター跡地での公園整備

～公共未利用地を活用した公園整備事業～

●事業目的

旧さくら小学校跡地を近接する大宮中央公園と機能の分担を行いながら、防災機能の向上及びボール遊び機能を備えた特色ある公園として整備を行う。整備後は近隣公園の機能を十分発揮できるよう標準面積である2ha となるよう既存の大宮中央公園と一体的に近隣公園として開設予定である。

旧佐太老人福祉センター跡地は、守口市の東部に位置し、佐太陣屋跡を含み、周辺においても佐太天神宮をはじめ多くの文化財を有することから旧佐太老人福祉センター跡地を景観形成効果、文化伝承効果及びコミュニティ形成効果を発現できる公園として整備予定である。

●事業概要

旧さくら小学校跡地を大宮中央公園と併せ、近隣公園（一時避難場所）として整備する。令和5年度に大宮中央公園（旧さくら小学校跡地）詳細設計、令和5年度～令和6年度にかけ、校舎等解体工事、令和6年度に公園整備工事を実施し、令和7年度の供用開始を目指す。

旧佐太老人福祉センター跡地を街区公園として整備する。令和5年度に施設解体工事実施設計、令和6年度に解体工事及び公園詳細設計、令和7年度に公園整備工事を実施し、令和8年度の開設を目指す。



●令和5年度補正予算（案） 34,480 千円

【内訳】

- ・大宮中央公園（旧さくら小学校跡地）整備工事実施設計業務委託 20,000 千円
- ・旧さくら小学校校舎等解体工事石綿除去・撤去監視業務委託 2,200 千円
- ・旧佐太老人福祉センター解体工事実施設計業務委託 5,500 千円
- ・旧佐太老人福祉センター解体工事石綿スクリーニング調査業務委託 1,100 千円
- ・旧佐太老人福祉センター解体工事石綿含有分析調査業務委託 3,630 千円
- ・旧佐太老人福祉センター解体工事残置物排出業務委託 2,050 千円

守口市独自商品券を市内全世帯に給付します！

～守口市おでかけ応援商品券～

—お買い物で人もまちも元気に！—

●事業目的

エネルギー・食料品価格等の物価高騰の影響を受けた市民に対して、消費の下支えを通じた生活安定支援を行うとともに、高齢者に対しては、コロナ禍で制限されていた外出の契機として支援することで、アフターコロナにおける健康づくりに資することを目的としており、また地元事業者に対しても、市内での消費喚起による経済的支援を目的として、市内全世帯に対して守口市独自の商品券を発行する「守口市おでかけ応援商品券事業」を実施。

●事業概要

【対象】

基準日時点で守口市の住民基本台帳に記載のある全世帯に対し、1冊の商品券を交付

【額面】

・一般世帯：

1冊 5,000円（500円券×10枚）の商品券（中小店専用券4枚、共通券6枚）

・高齢者世帯：

基準日時点において65歳以上の高齢者がいる世帯は+2,500円とし、

1冊 7,500円（500円券×15枚）の商品券（中小店専用券5枚、共通券10枚）

【券種】

- ・中小店専用券（中・小規模店《取扱店舗中、大規模小売店舗立地法第2条第1項に基づく大規模小売店舗を除く店舗》のみで利用可能）
- ・共通券（全取扱登録店舗で利用可能）

●令和5年度補正予算（案） 521,775千円

【内訳】

委託料 521,775千円



(注) 画像は、令和4年度実施の守口市スーパープレミアム付商品券のもの

